

令和 6 年度門真市民文化会館及び門真市立市民交流会館
指定管理者総合評価

【評価対象年度】：令和 5 年度

施設のサービス水準の視点コメント

利用者アンケートからも、前年度に引き続き利用者からの評価が良好であることが伺える。特に、職員
の態度について昨年度を上回る満足度であったことは評価すべき点である。今後においても、引き続き利
用者が安心して利用できる施設となるよう努められたい。

収支状況 コメント

収入においては、時短営業等はなかったものの、新型コロナウイルスの影響は今年度も続き、利用団体の
解散や自粛などによる利用料収入等が減少したことにより予算額より下回る結果となった。支出におい
ては、光熱費等の物価高騰がある中、業務委託料の削減や節電に努めたことで、予算額より下回る結果と
なったことを評価する。

市による総合評価 コメント

昨年度から続く物価高騰に伴う光熱費等の高騰があったものの、支出全体
では予算額を下回るよう委託料や光熱水費に関して工夫している点を評価す
る。

事業においては、ルミエールホール開館30周年、市制施行60周年のメモリ
アルイヤーを大いに盛り上げるための独自事業や共催協力事業を積極的に実
施し、文化芸術の推進に努められていたことを評価する。特に、多くの市民
と協働して事業を行う門真市文化芸術推進基本計画パイロットプロジェクト
実行委員会に参画し、「KADOMA ART FES」に関わる事業のサポートや、市と
ホームタウンパートナー協定を結ぶ関西フィルハーモニー管弦楽団の支援・
楽団と連携したイベントの実施などを行い、とりわけ外に向けた文化芸術事
業を展開することができたことを評価する。

総合評価

A

総合評価区分凡例

- A： 協定事項等を上回る水準で施設運営がされ、
大変良好なサービスが提供されている
- B： 概ね協定事項等の水準どおり施設運営がされている
- C： 協定事項等の水準以下であった